

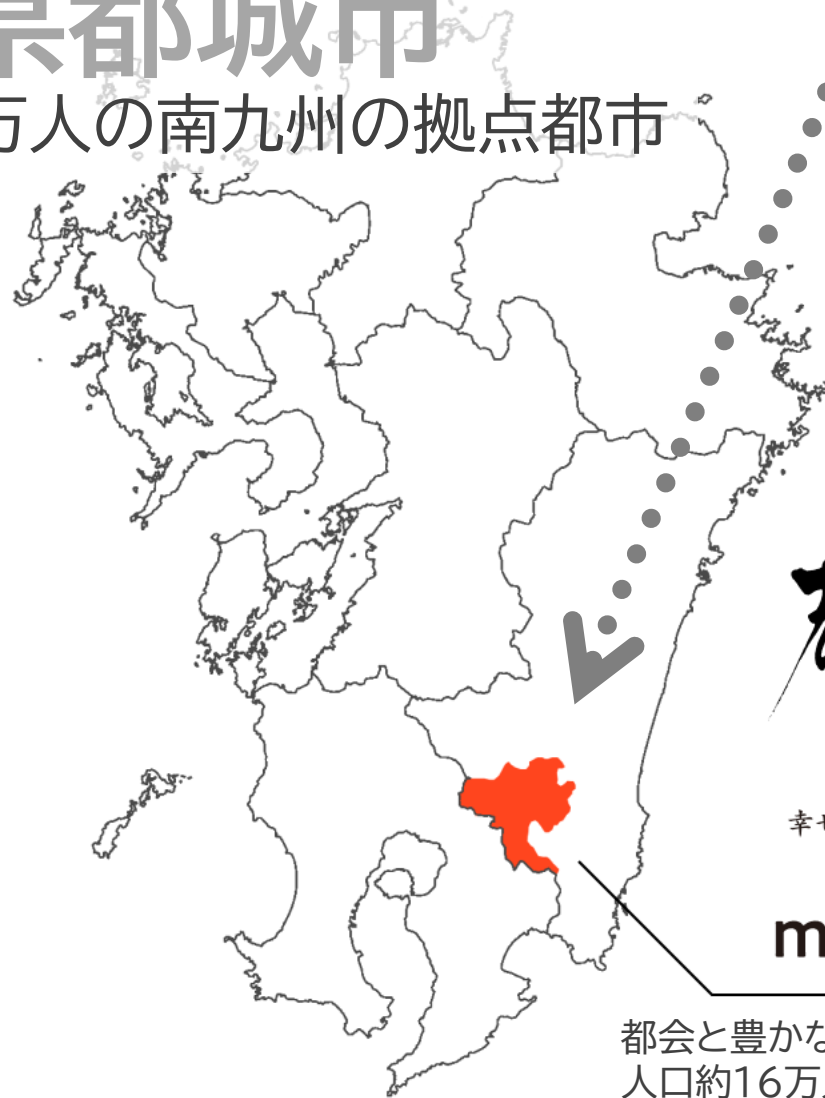
2024.12.19_企業版ふるさと納税オンラインマッチング会

『3つの完全無料化』 (子育て支援)

宮崎県都城市

宮崎県都城市

人口約16万人の南九州の拠点都市



羽田空港から
宮崎空港まで約95分
空港から車で約50分で到着

約2時間半で到着



幸せ上々、みやこのじょう

日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統

miyakonojo

都会と豊かな自然が適度に共存する、
人口約16万人の南九州の拠点都市。
高速道路や高規格道路、JR線、40km圏内に2つの
空港があり、陸・海・空の交通インフラが整っていま
す。

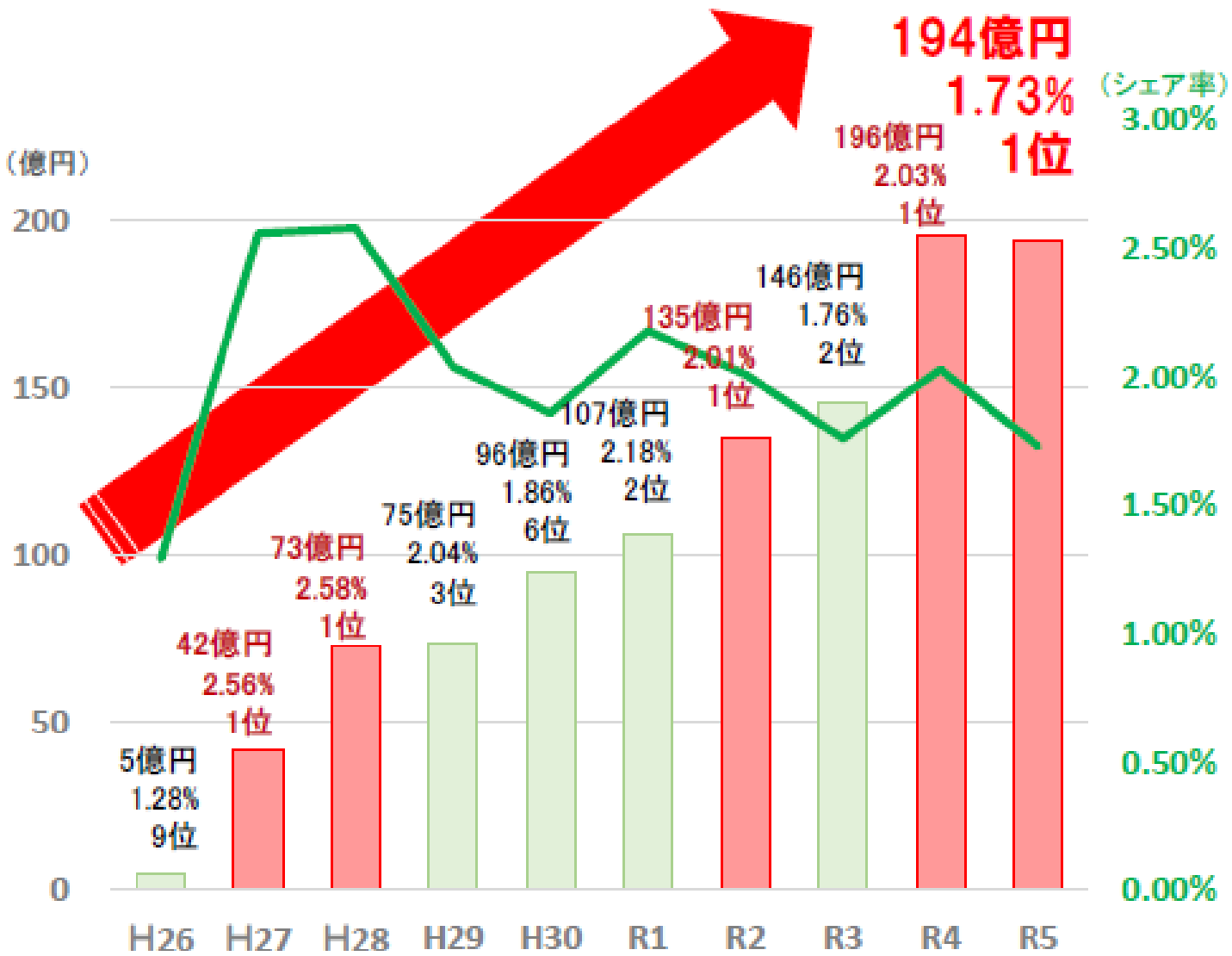
都城市といえば…



都城市といえは…



都城市のふるさと納税寄付額



都城市のふるさと納税寄付額

R5ふるさと納税

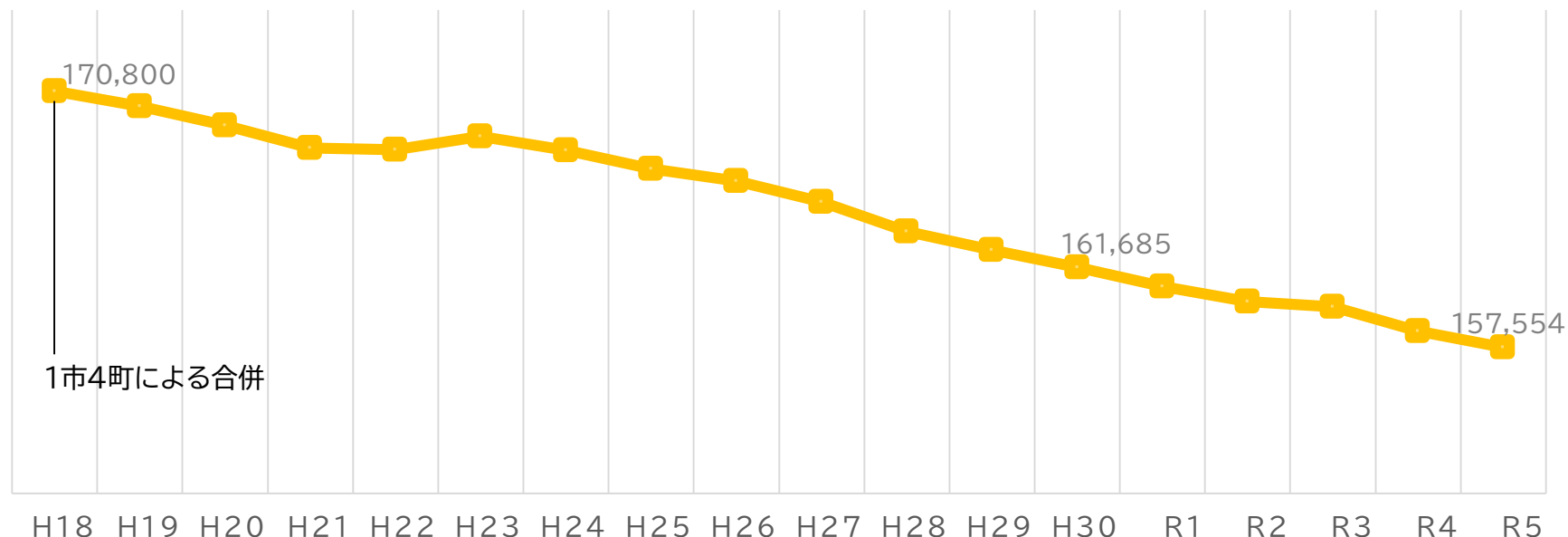
日本一！



■これまでの都城市の人口

●全国的な流れと等しく減少傾向

現住人口の推移(各年4月1日現在)



- ・ 都城市(合併後)の人口は、平成18年)に170,800人がピーク
- ・ それ以降、微減傾向が続く
- ・ ここ数年1,000人程度の減少が続いている

■人口減少から人口増加に向けた取り組みの転換

●令和5年度から人口減少対策を積極的に推進！

安心して子育てできる
子育て三ツ星タウン

宮崎県
都城市の
3つの完全無料化

宮崎市子育て応援
総合サイト



1 第1子からの保育料

中学生までの通院や薬局の利用時にかかる

2 こども医療費

妊産婦時に受診する

3 妊産婦の健診費用

無料化制度のお問い合わせはこちら **宮崎県 都城市こども部**

①第1子からの保育料の無料…保育課(保育担当) ☎(0986)23-4894

②こども医療費の無料…こども政策課(子育て給付担当) ☎(0986)23-2684

③妊産婦の健診費用の無料…こども家庭課(保健センター) ☎(0986)36-5661

×

地方暮らしを強力にサポート！
移住応援給付金！

全国どこから移住しても **500万円**

世帯最大

宮崎県
都城市は

地区区分	単身世帯	2人以上の世帯	子ども加算 (1人あたり)	(例)夫婦+子3人
中山間地域 以外	60万円	100万円	1人あたり 100万円 (最大300万円)	最大 400万円
中山間地域 (※1)	80万円 [基礎給付40万円+ 中山間加算20万円]	最大 200万円 [基礎給付100万円+ 中山間加算1人20万円 (最大100万円)]	1人あたり 100万円 (最大300万円)	最大 500万円

さらに！

**保育士就職も
強力サポート！**

市内の保育園等に
保育士等として就職すると **40万円** 支給！

移住に関するお問い合わせはこちら

都城市移住・定住サポートセンター ☎(0986)23-2542

給付条件(※6)を確認して
転入前に**移住相談登録**を！



※1 室崎町・三股町・鹿見島町・賀茂町・志布志市を除く。 ※2 夫婦と18歳未満の子3人で、中山間地域に居住した場合。 ※3 中山間地域・志布志・庄内・西品・中津・山之内・高城・山田・高崎地区。 ※4 保育士等…保育士、幼稚園教諭、保育教諭。 ※5 移動給付金として3年間認め、1人あたり(基礎給付金+20万円、基礎給付金+20万円+2年経過給付金10万円)ずつ。 ※6 非常勤保育士の給付金もあつた。問い合わせ…都城市保育課 ☎(0986)23-4894。 ※7 事前に居住相談登録をされて令和5年4月1日以前に転入した人が対象。など。

無料化

1

第1子からの保育料の完全無料

▼市内でいちばん多い保育料の階層の世帯で2歳と0歳児を預けるとき

2歳

1か月
39,000円

+

0歳児

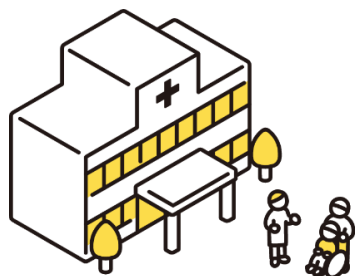
1か月
19,500円

年間で計算すると...

 約**70**万円の軽減

- 国の基準では0～2歳児の保育料は保護者負担です。
- 本市独自の施策として全て無料化します。

無料化
2



中学生までの医療費の完全無料



○中学校卒業までにかかる医療費を全て無料化します。

○子どもたちの健やかな成長を支援します。

無料化 3



妊産婦の健診費用の完全無料

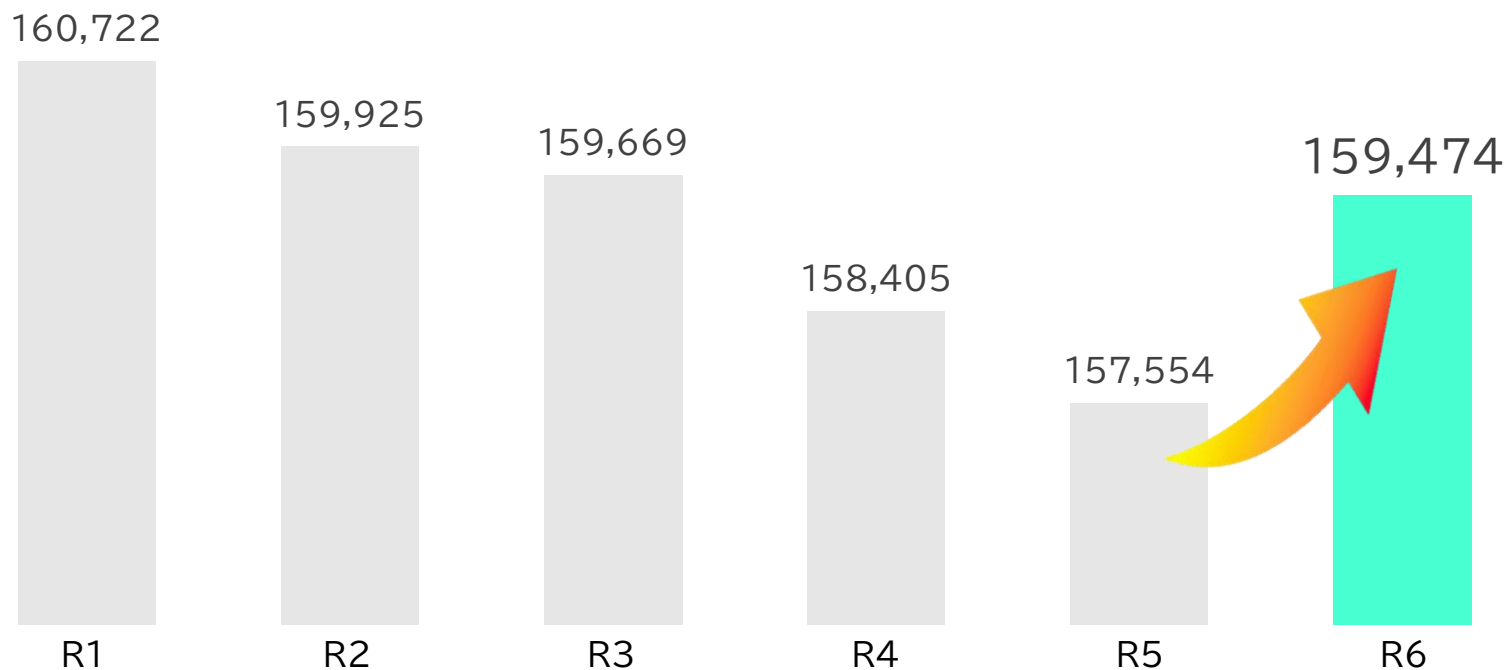
健診名	妊婦健康診査	妊婦歯科健康診査	子宮頸がん検査	産婦健康診査
受診時期	妊娠期	妊娠期	1回目の妊婦健診時	産後2週間～2か月未満

○国が示す健診メニューを対象に、
妊産婦期に受診する健診費用を
全て無料化します。

■令和6年度の人口に大きな変化がありました

●13年ぶりの人口増！

各年4月1日の現住人口



- (平成23年度)以降減少傾向だった現住人口がR6は増加へ
- 対前年度+1,920人、社会増は+3,211人、自然減△1,291人であり、社会増が自然減を補った。

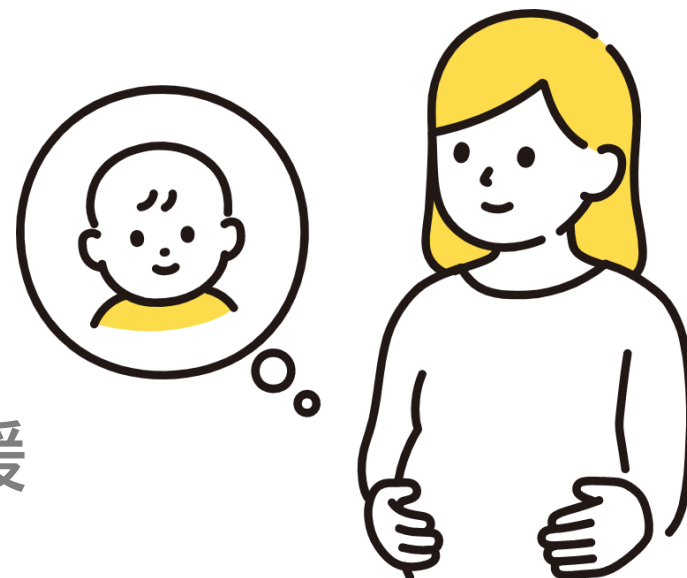
■3つの完全無料化を軸にさらなる子育て支援へ

●もっと子育てしやすいまちへ！



希望する保育施設へ、
入所できるような民間への
施設整備支援

不妊治療の
保険適用後に残る
自己負担に対する経済支援



当市へのご寄付にご協力を
お願いいたします。